

# アトキンソン

小西美術工芸社社長



日本にはいい資源がたくさんあるのに、活用していない

聞き手・渡邊直樹 本誌編集長 写真・河野利彦

「おもてなし」では外国人観光客は呼べない——アトキンソンさんは、著書『新・観光立国論』で、日本の観光政策に対してデータに基づいた提言を行い、大きな話題となった。最新作の『新・所得倍増論』では、戦後日本の経済成長神話の根拠がいかに間違っていたか、そして日本人が本来持っている潜在力を活かしていくことで、新たな成長が可能になることを、説き明かしている。古民家を修復した京都のご自宅で話をうかがった。

## David Atkinson

1965年英国生まれ。  
オックスフォード大学で「日本学」専攻。  
1992年、ゴールドマン・サックス入社。金融調査室長を務め、日本の不良債権の実態を暴くレポートを発表。2007年に退社。  
その間に、茶道裏千家に入門。日本の伝統文化に親しみ、茶名「宗真」を拝受。09年、国宝・重要文化財等の補修を手掛ける小西美術工芸社に入社、取締役役に就任。  
現在、同社代表取締役社長。日本の文化財政策、観光政策への提言なども行う。  
『新・観光立国論』で山本七平賞受賞。





## 京都の町並みを破壊してきたのは京都市民だ

**渡邊** この古民家は築何年ぐらいですか。  
か。

**アトキンソン** 百年ぐらいですかね。

大正の建物ですね。

**渡邊** いつ頃からお住まいですか。

**アトキンソン** 約10年ぐらいになります。

**渡邊** こちらの家も、だいぶ修復されたんですか。

**アトキンソン** 直しましたね。その時も、立て直した方が安いといわれましたけれど、あれは完全に嘘でした。この古民家を完璧に直しても、坪単価は、建て直す単価の半分にもならないですから。でもハウスメーカーは必ず、立て直す方が安いと言います。

**渡邊** 奥には蔵もありますね。

**アトキンソン** そうです。あれが一番古いんですよ。蔵は便利ですよ。建具だとか色んなものを入れてあります。

**渡邊** アトキンソンさんはたしか、京町家友の会の会長もされていますので、京都の町並み保存のことから伺いたいのですが。

**アトキンソン** はい。去年からやっています。京町家友の会というのは、ほぼ全員日本人なんですけれども。

**渡邊** 京町家も含めて、町並みを保存するうえで、何がいちばん問題ですか？

**アトキンソン** 一番は規制の問題です。京都の町並みは、日本の大きな都市の中で、ほぼ唯一空襲の被害を受けていないところでした。海外で言えば、フ

## 不思議なことに 日本では、町並みや景観は、 ほとんど規制されていない

イレンツェとかローマとか、そういうところに比較できるような場所ですから、連合軍としてはやっぱり京都は残すべきものだと考えて、空襲をしなかったんです。ところが、戦後になって京都市民が、それを破壊してきたんです。その破壊行為がなぜ許されたのか